

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	出来れば週末も唱和し、実践出来たか反省会の場を持つと良いと考えている。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	○	現在理念や基本方針等は、事務所・玄関に掲げているが、ご家族、地域の方々にも理解頂ける様により目立つ場所及びより大きく掲載したい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	天気の良い日は毎日散歩に出て地域の方々からも自然に声を掛けて頂ける様な関係作りを支援していく。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	自治会の運動会地域のお祭り等にも参加できればと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	私共のホームで花作り、無農薬の野菜作りに取り組み、地域の方から、たい肥の作り方等の手ほどきを受け、出来る利用者には参加して貰っている。職員も日頃の業務に追われているが、休みを利用して野菜作りに参加してくれている。	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	年々重度化する利用者のケアの充実となると大変難しく、理想とのギャップがある。自己評価及び外部評価を受けるにあたり、基本方針を改めて考える機会になり勉強のよいチャンスだと考える。	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	ホームで2ヶ月に一度地域の民生委員・地域包括支援センター・家族の代表2名・有識者(九州大学名誉教授)を交えての活発な意見を交換する。	○ 前回の会議では、当ホームからの介護職・看護職・事務職・給食職からの参加で外部から色々な面からの意見が聞かれ、とても良かったと外部から評価を受け、出来ればこの形を続けて行きたいと思う。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	現在は、取り組んでいない。	○ 現在、市町村担当者と運営推進会議以外での連携は出来ていないが、務めて機会を作りたい。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	管理者がグループホーム協議会で地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会がある。	○ 学んだ成果を職員に伝える機会を持って行きたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	利用者から職員への軽い暴力はあるが(入浴拒否)反対は絶対にあってはならないと職員会議等で常々話しあう。常にスタッフに虐待をしない、行なってはいけないと言う意識がある。	○ 現在徘徊者にたいする対応として徘徊探知機を本人(お守り)と、ホーム内3ヶ所に取り付け、出来るだけ拘束のない健全なケアをして行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は管理者・介護者・看護者・事務職との入念な説明等で対応し、解約時にご家族の決断をしっかりと待っての上で行なうこととする。解約時は特に誤解が生じる事がない様に納得して頂いた上で行なう様にしている。</p>	<p>○</p> <p>入居の際入念な説明、聞き取りが出来たと思ってもそれでも不十分なので、前居住地での要介護認定資料提供等を活用したい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>直接意見、不満、苦情かええる利用者は、数名で全員の思いや意見がうけとめられていないのが現状である。</p>	<p>○</p> <p>時々漏らされる少数意見に耳を傾け対応する事も大事だと考える。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月毎に家族に宛てたホームの通信に、ホームでの様子や健康状態を記載している。又、請求書発送時に、小口預かり金の現在の残高もお知らせしている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談員(民生委員 深町輝子氏)を設けている。又は家族代表の方にも電話等で意見及び苦情を寄せて頂いている。直接運営者に言って貰う事が理想であるがそれは難しく、意見箱(ホームの玄関に設置)でも対応している。</p>	<p>○</p> <p>難しい事だが、家族が何でも話せる雰囲気を作って行きたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>先の運営者のレポートを(厚生省に提出)職員全員に読んで貰い、それに対する意見・感想を提出して貰うこととする。</p>	<p>○</p> <p>全職員の意見をまとめて、より良い運営に生かして行きたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の病気・入院等には他の職員が変わる等の対応で調整を行っている。</p>	<p>○</p> <p>勤務状態の平均化・平等化を念頭に置き、職員の希望を聞き乍ら、シフト作成にあたり、大きい行事等には全職員出席等の対応をしたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>出来るだけ離職を避けたいと願っているが現状では難しく利用者へのダメージを出来るだけ少なくする様心掛けている。</p>	<p>○</p>	<p>具体的には急な職員の離職は避けてもらい利用者に(理解出来る利用者には)話して貰ったり、新しい職員との引継ぎをうまく行なう様にしている。新しい職員に早く利用者の家族関係や利用者本人を覚えて貰うようにしている。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用にあたっては、性別や年齢等で判断していない。</p>	<p>○</p>	<p>当ホームでは、70歳以上1名、定年後の職員2名と豊富な経験を生かして貰えて貴重な存在である。畑での野菜・花作り等皆でこれからも、楽しんで行きたい。</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>利用者のファイル等は、人の目に触れない場所に管理し、入居者の人権を守っている。</p>	<p>○</p>	<p>個人情報保護法の徹底を会議等で都々説明する。</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>市・県・グループホーム協議会等の研修勉強会は職員に勉強の良い機会だと考え出席を促す。</p>	<p>○</p>	<p>当ホームは年配者が多く若い職員は少ないが彼等にチャンスを与えていかねばならないと考える。</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設等の管理者及び職員との交流を持ち情報交換する事が、当ホームのサービス向上に繋がると考える。</p>	<p>○</p>	<p>今後一層の交流を計りたいと考える。</p>
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員のストレスを軽減する為の工夫がひいては、利用者へのより良いケアに結びつくのではと考える。</p>	<p>○</p>	<p>少ない職員で運営している現状では困難なことであるが、食事会(時折行なっている)及び旅行等も計画したいと考える。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の個々努力や実績を認め評価する事が利用者へのより良いケアに繋がって行くので大切な事だと思う。</p>	○	<p>努力する・真面目に勤務する・良いケアが出来ている職員には、給与・賞与等で考慮出来たらと考えている。</p>
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>利用までに連絡を密にとり、本人及び家族からのこれまでの生活歴・趣味等を十分に聞き取り、不安や疑問に対してどういうサービスができるのかを理解してもらう。 居室訪問に心掛け、スキンシップ等により信頼関係を高め傾聴に努め、コミュニケーションが密に取れる雰囲気作りに努力している。</p>	○	<p>1回での聞き取りでは不十分ぶある為何度か聞く機会を作り、情報・希望を聞き出す。</p>
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> <p>来訪時には入居者の近況を伝え又、家族の要望を伺い、家族とのコミュニケーションが密に取れる雰囲気作りに努力している。</p>	○	<p>家族が困っている事、希望されている事を面会のたびにこちらからも声掛けして情報を聞くようにしたい。</p>
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> <p>ホーム入居の条件に合うか情報を伝え、家族と本人に入所の希望を判断して頂いている。 ケアプラン作成の中で、担当スタッフ・ケアマネ・他のスタッフとカンファレンスを開き支援に努めている。</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> <p>ホームに馴染んで頂く1つの方法として、ショートステイに取り組んでいる。サービスの内容を家族と相談しながら、利用者の嗜好や趣味などを十分に聞き取り、説明を十分に言い検討している。</p>	○	<p>軽い認知症の方は理解していただくのに時間を要する為、体験入居もこれから取り入れていきたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> <p>本人の状況・情報を把握し日常の暮らしと一緒に送りお互いに必要とされている事を感じて頂いている。 1日の流れ、レクリエーション・行事等職員も本人も一緒に参加する事でお互いに助け合える関係を作っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	○	<p>行事・花見・レクリエーション等に家族の参加を呼びかけ、協力をお願いしていきたい。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	○	同上
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	○	<p>多くの方が気軽に訪れてもらえる様働きかけたい。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	○	<p>退所された家族が気軽に来て下さる事、ボランティアとして行事に参加(申し出有)して下さる雰囲気を作っていきたい。</p>
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	○	<p>可能な限り本人の希望を叶えるよう取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	他の利用者にもより良いケアの提供に取り組んでいきたい。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○	今後デイサービスの人数が増え、グループホームと一緒にいられない行事も出てくると考えるが、出来るだけお互いに助け合い柔軟な支援が出来たらと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ホームの運営、活動には民生委員・ボランティア・警察・消防の協力なしでは行なえない現状である。</p>	○	<p>教育機関等の協働は活発ではないので、今年は働きかけて行きたいと思う。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在の所、他のサービスの活用支援は受けていない。</p>	○	<p>地域の他のケアマネジャーやサービス事業者との話し合いを持ち、支援を広げて行きたい。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとの協働は運営推進委員会のみである。</p>	○	<p>今後もっと地域包括支援センターとの交流を密に持ちたいと思う。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人・家族の意向を伺い主治医を決定し、かかりつけ医との連絡を密にしている。急変時には、かかりつけ医の指示のもと受診及び往診していただいている。あくまでも家族の意見を尊重している。受診を理解出来ない利用者には、採血・諸検査時、必要に応じ医師の指示のもと適切な介助を行っている。</p>		
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関で対応できない時は、専門医の紹介を受け受診する。</p>		
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>当ホームには2名の看護職が看護にあたり、医療連携を結んでいる訪問看護ステーションに週一回の訪問看護を受けて対応している。</p>	○	<p>緊急時に24時間何時でも対応して貰えるのが夜勤の職員には心強い味方である。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	只今入院中の利用者があるが日々の状況を把握し早く退院して頂ける様働きかける。	○	ケガで入院される利用者が少なくなる様しっかり見守りを重視したい。
49 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ターミナルの利用者2名を抱えている。ターミナルケアのDrに週一度の往診と訪問看護の看護を受けている。	○	病院から戻って来られた折、24度間点滴の利用者が段々快復され、食事が進み笑顔が見られる事に職員一同喜びを感じる。これからも頑張っていきたい。
50 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	別紙		
51 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	大切な事だと考えるので、ゆっくり話し合い環境に慣れて貰える様努力している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
52 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員利用者のプライバシーを損ねる様な対応は絶対しない様指導する。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>一番風呂しか入らない方1名、希望して入られる方2名いるが、入浴が漏れることのない様チェックしている。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>マッサージ後入眠される方が多いが、そのまま休んでいたり、朝早い方はTVを観ていたり、遅い方は起きる意向が見られて介助している。</p> <p>夜中の1～2時まで眠らない方、朝起きれない方とさまざまであるが自由にしてもらっている。安眠の環境を作る努力をしていきたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	○	<p>不安・混乱がみられる場合、場を変え晴らし、得意または楽しみ事で転換出来るよう導かせていただく。</p> <p>小さなお金を所持していないと不穏になられる利用者を除いて、お金の所持はしてもらっていない。</p> <p>買い物等に利用者を連れ出す際、自分で支払いをして貰ってはどうかと考えている。</p>
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>普段の会話の中より望まれている事が分かれば、こちらからも勧めて買い物へ出かける。</p>
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>全体的な働きかけはしていない。</p> <p>生まれ故郷や長く生活した場所へお連れしたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人は終始出しているが、思いつかなかった。	○	年賀状書きや簡単な文章から初めていきたい。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来客時お茶、あればお菓子等出している。穏かに話がスムーズに出来る様心掛けている。	○	話の様子次第で、職員も入って話していきたい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームも身体拘束は絶対にしない方針である。		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の居室は勿論のこと出入口には鍵をかけないケアを基本とする。		玄関のみは簡単な鍵のみ使用する。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	前にも触れた徘徊者には探知機をつけ対応している。		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁は一律にしまっているが、手洗い洗剤・消毒剤等利用者から見て理解出来ない物は物陰に置く。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ同士連携声かけ合いによる見守りにより、事故防止の取り組んでいる。</p>	
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>消防署の応急手当や初期対応の訓練を行なっている。訪問看護ステーションはなどの医療連携を結び緊急時に備えて対応している。</p>	<p>○</p> <p>もっと頻繁に行なわなければいざと言う時役に立たず不安である。定期的に訓練を行なって行きたい。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て、避難訓練を行なっている。職員は避難経路を承知しており、火事等の緊急時には、近郊の施設からの応援体制が出来ている。</p>	
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>骨粗鬆症・転倒など見守っていても起こりうるリスクについて入居時に説明し又、レベル低下等がある時にその都度事実をおおげさでなく伝える。</p>	
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>朝のバイタルチェックを行なっている。申し送りの活用</p>	
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬による気になる症状があれば看護師に申し送り、結果医師へ受診し、薬が変わることもある。様子観察を重視している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>飲水量、一日最低 700～800CC 献立時に繊維質の多い食品や、乳製品(ヨーグルトは毎朝)を取り入れている。又定時の排便誘導を行なっている。</p>	<p>○</p> <p>3度の食事時、おやつ2回時は必ず飲んで頂く。少ない方は、品を変えて飲んで頂く。(薄い砂糖湯・ゼリー茶・ジュース等)</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後の歯・義歯のブラッシング、就寝時には義歯を預かる。用具は週1回消毒している。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>*個人摂取量の毎日の記録 水分補給(朝食後、10時頃、昼食後、3時、夕食後、寝る前) *糖尿食 *タンパクコントロール食(透析の方)の個別対応実施</p>	<p>○</p> <p>個別による食事形態を重視した食事を考えて行きたい。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作り全スタッフに配布している。 感染症に対しスタッフが研修に参加し、その後研修の報告を行なっている。 *食事前に職員・利用者全員手洗いの実施 *検便の実施 (毎月1回 給食従事者)</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>*冷凍・冷蔵庫の温度チェック *まな板・包丁の使い分け (肉・魚・野菜等の区別) *大型冷凍・冷蔵庫設置により食材の安全管理 *コクベクション使用により食品の中心温度確認 *なるべく旬の食材を使用している</p>	<p>○</p> <p>保存食の実施を考えている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>玄関廻り、庭に沢山の花々を植え近隣の人々、面会者に楽しんで貰っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>TV音・職員の大声等で不安混乱を招かぬ様配慮している。食事中は、音楽を聴きながら、又会話を楽しみながら食べて頂いている。 例(Uさん、居室の上窓の明かりが漏れ入眠の妨げになるとカーテンを下げています。)</p>	
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室での昼寝は希望で行なって貰う。また出入りも自由に出て来ている。共有空間のソファでは、TVを観たりカラオケを楽しんで貰っている。テーブルには同じ顔ぶれがあり、スタッフも中に入り話し相手をするなど、一緒に楽しむ時間を持っている。スタッフの誘導で庭のベンチでお茶を楽しむ事もある。</p>	
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には使い慣れたタンス・ベッドもそれぞれ状況、好みに応じた物を使われている。思い出の写真・絵なども展示している。</p>	
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>常時、換気扇・温度は入居者の方に伺いこまめに行なう。就寝時は、その方の体調に応じて各居室ごとに調整する。</p>	
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ベッドは転落の可能性のある方は、下にマットを置き危険性をなくし自由にして頂く。</p>	<p>○ 浴室・要所の手すりの設置</p>
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>M氏＝「犬のエサが湿っているのでやれない」と言われ「半生製ですからこれでいいですよ」が伝わらず不穩に陥りそうな時は、カリカリの硬めのエサを買って来て与えて貰う。</p>	
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭にての日光浴、近所の散歩、希望で自分の洗濯物を干して頂く。</p>	

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

別紙のレポートが現在のあおいホームの有様とこれからの事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等をまとめておりますので、(H19年3月26日)御一読下さい。